

ORICON

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月9日

2011年3月期 第2四半期決算の概要

スマートフォン対応を積極的に推進

- ・「ORICON STYLE」サイトのiPhone向け無料アプリの提供を開始(2010年7月～)
ダウンロード数が20万を超え、広告枠の販売を開始
- ・Android携帯向けにも「ORICON STYLE」無料アプリの提供を開始(2010年9月～)
同時にAndroid携帯電話向けの音楽配信サービスをスタート

WEB広告販売と着うたフル配信サービスが、収益をけん引

連結の売上高(2Q累計) : 3,330百万円(前年同期比19.7%増)

連結の営業利益(2Q累計) : 573百万円(前年同期比92.7%増)

連結損益計算書



| (単位:百万円) | 10年3月期 第2四半期 | 11年3月期 第2四半期 | 増減 | |
|------------------|------------------|------------------|-----|-------|
| | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 2,782 (100%) | 3,330 (100%) | 547 | 19.7% |
| 売上原価 | 1,709 (61.4%) | 1,939 (58.2%) | 230 | 13.5% |
| 差引売上総利益 | 1,073 (38.6%) | 1,390 (41.8%) | 316 | 29.5% |
| 販管費 | 776 (27.9%) | 816 (24.5%) | 40 | 5.2% |
| 営業利益 | 297 (10.7%) | 573 (17.2%) | 275 | 92.7% |
| 経常利益 | 297 (10.7%) | 548 (16.5%) | 251 | 84.4% |
| 税金等調整前 四半期純利益 | 294 (10.6%) | 539 (16.2%) | 244 | 82.9% |
| 四半期純利益 | 187 (6.7%) | 366 (11.0%) | 179 | 95.7% |

増収要因

- ・着うたフル[607百万円増(93.0%増)]
- ・WEB事業[69百万円増(16.5%増)]
- ・データサービス事業[25百万円(9.0%増)]

減収要因

- ・着メロ[40百万円減(14.8%減)]
- ・雑誌事業[24百万円減(3.3%減)]

粗利益率が3.2ポイント上昇

(主な要因)

- ・着うたフルの会員化が進み、月額定額売上の割合が上昇
- ・WEB事業で粗利益率の高い広告商品の比率が上昇

広告宣伝費を含め大幅に増加した費用項目なし

営業利益率が6.5ポイント上昇

前年同期に、営業外収益として投資事業組合運用益39百万円を計上していたため、経常利益の増加率が、営業利益での増加率と比べてやや低くなった

少数株主利益の額が、前年同期の52百万円から17百万円に減少

セグメント別売上高

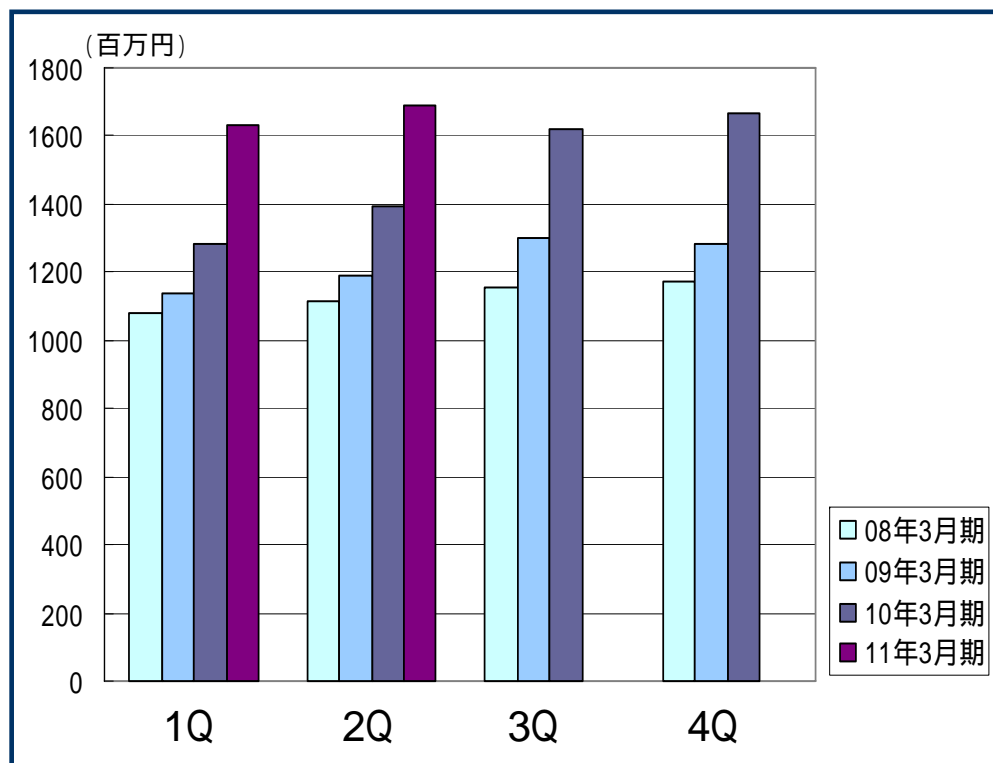


| (単位:百万円) | 2010年3月期 第2四半期累計 | 2011年3月期 第2四半期累計 | 増減 | |
|--------------|---------------------|---------------------|------------|--------------|
| | | | 金額 | 増減率 |
| WEB事業 | 419 | 488 | 69 | 16.5% |
| モバイル事業 | 1,251 | 1,828 | 576 | 46.0% |
| 着メロ | 272 | 232 | 40 | 14.8% |
| 着うた | 243 | 259 | 15 | 6.2% |
| 着うたフル | 653 | 1,261 | 607 | 93.0% |
| 情報系など | 81 | 75 | 6 | 7.9% |
| 雑誌事業 | 722 | 698 | 24 | 3.3% |
| データサービス事業 | 284 | 310 | 25 | 9.0% |
| その他 | 104 | 4 | 100 | 95.6% |
| 売上高合計 | 2,782 | 3,330 | 547 | 19.7% |

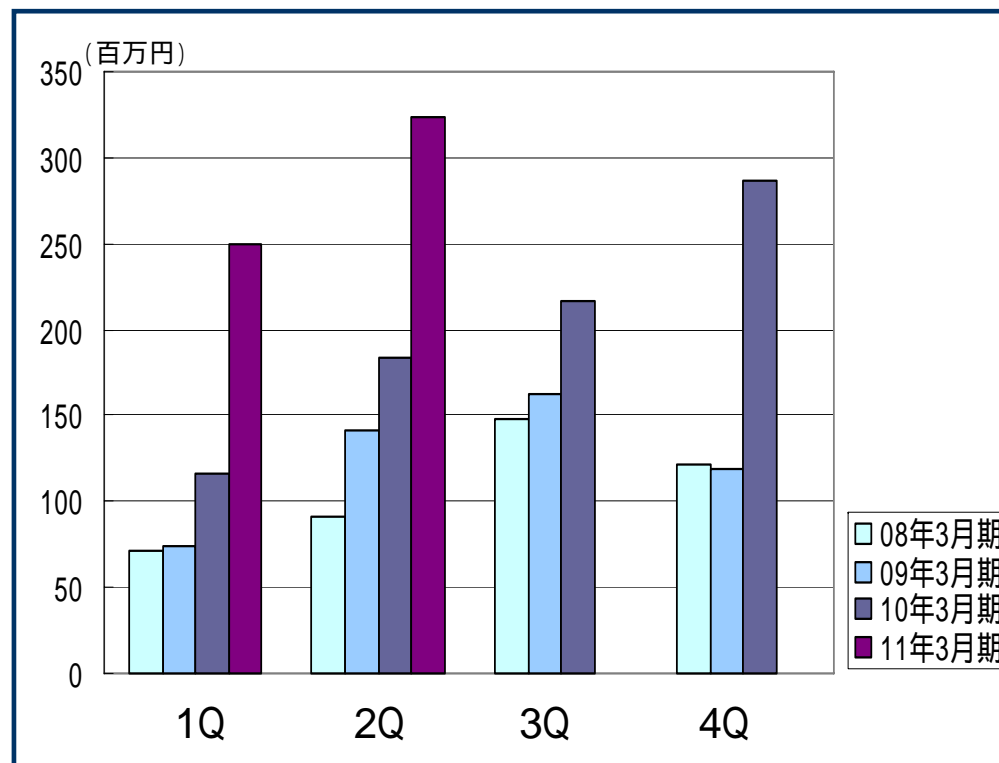
百万円未満を切捨てて表示しております。

第1四半期連結会計期間より適用した「セグメント情報等に関する会計基準」に準拠した新たなセグメントで区分しております。前第2四半期連結累計期間についても新たなセグメントに組み替えて算出した数値になっております。

売上高



営業利益



当社グループの業績には、エンタテインメント業界が、通年、年末年始を中心とした時期に活況となることから、下期偏重となる季節変動が存在します。

2008年3月期と2009年3月期については、連結除外となったORICON CNS Inc. とフランクリン・ミント株式会社の数値を除いたものにしております。

連結貸借対照表



| (単位:百万円) | 2010年3月期末 | 2011年3月期 第2四半期末 | 増減 |
|--------------|-----------|--------------------|-----|
| 資産合計 | 4,672 | 5,230 | 558 |
| 流動資産 | 2,618 | 2,929 | 311 |
| 有形固定資産 | 325 | 323 | 2 |
| 無形固定資産 | 855 | 1,013 | 158 |
| 投資その他の資産 | 868 | 960 | 92 |
| 繰延資産 | 4 | 3 | 1 |
| 負債合計 | 3,289 | 3,549 | 260 |
| 流動負債 | 2,220 | 2,353 | 133 |
| 固定負債 | 1,068 | 1,195 | 127 |
| 純資産合計 | 1,383 | 1,681 | 298 |
| 株主資本 | 1,044 | 1,412 | 368 |
| 評価・換算差額等合計 | 14 | 19 | 5 |
| 新株予約権 | 12 | 13 | 25 |
| 少数株主持分 | 340 | 302 | 38 |

無形固定資産の増加は、(株)oricon MEの株式を買い戻し、のれんが増加したことが主な要因。

投資その他の資産の増加は、(株)ベストクリエイトとの業務提携に伴い、同社の株式を保有したことが主な要因。

自己資本比率が、22.0%から26.6%に上昇(4.6ポイントの上昇)。

連結キャッシュ・フロー



| (単位:百万円) | 2010年3月期 第2四半期 | 2011年3月期 第2四半期 | 前年同期比 増減額 |
|------------------|-------------------|-------------------|--------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 293 | 493 | 200 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 180 | 436 | 256 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5 | 83 | 78 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 118 | 140 | 22 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 456 | 897 | 441 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 575 | 1,037 | 462 |

営業活動によるキャッシュ・フロー

11年3月期2Qは、前年同期と比べて、税金等調整前四半期純利益の額が増加。法人税等の支払額も増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

11年3月期2Qにおいては、業務提携に伴う(株)ベストクリエイトの株式の取得、および(株)oricon MEの株式の買戻しによって資金が減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

11年3月期2Qにおいては、長期借入金の増加によって、資金が増加

通期連結業績予想および配当予想について

通期業績予想修正について(本日付)



2Q累計期間(上期)

WEB事業: CSランキング連動型広告など粗利益率の高い広告商品の売上シェアが期初の想定より高くなった。

着うたフル: 会員化が進み、月額定額課金の売上シェアが期初の想定より高くなった。



粗利益率が計画より高くなり、利益額が期初予想を上回った。

下期

WEB事業と着うたフルについては、粗利益率が期初の計画より高くなるという上期からの基調に大きな変化が出ない見通し。

一方、スマートフォンアプリの開発を期初の計画以上に推進する予定であり、それに関わる費用が増加する見込み。(後述)



下期に計上見込みの利益の額は、期初予想数値を据え置く。

通期の連結業績予想については、上期の実績値が期初の予想数値を上回った差分を考慮し、以下の通りに修正します。

| | 2Q累計期間(上期) | | | 通期 | | | |
|------------|-------------------|------------|--------------|-------------------|---------------------|--------------|----------------------|
| | 期初 予想数値 (A) | 実績値 (B) | 増減額 (B-A) | 期初 予想数値 (C) | 今回修正 予想数値 (D) | 増減額 (D-C) | (ご参考) 前年同期 実績値 |
| 売上高 | 3,310 | 3,330 | 20 | 7,060 | 7,060 | 0 | 6,069 |
| 営業利益 | 380 | 573 | 193 | 1,020 | 1,220 | 200 | 801 |
| 経常利益 | 340 | 548 | 208 | 940 | 1,150 | 210 | 778 |
| 当期(四半期)純利益 | 240 | 366 | 126 | 650 | 780 | 130 | 336 |

通期のセグメント別売上高(期初の予想値)



| (単位:百万円) | 2010年3月期通期 (実績値) | 2011年3月期通期 (予想値) | 増減 | |
|-----------|---------------------|---------------------|-----|--------|
| | | | 金額 | 増減率 |
| WEB事業 | 918 | 1,128 | 210 | 22.9% |
| モバイル事業 | 3,009 | 3,777 | 768 | 25.5% |
| 着メロ | 527 | 456 | 71 | 13.5% |
| 着うた | 510 | 463 | 47 | 9.2% |
| 着うたフル | 1,812 | 2,700 | 888 | 49.0% |
| 情報系など | 158 | 158 | 0 | 0% |
| 雑誌事業 | 1,439 | 1,496 | 57 | 4.0% |
| データサービス事業 | 596 | 659 | 63 | 10.6% |
| その他 | 105 | 0 | 105 | 100.0% |
| 売上高合計 | 6,069 | 7,060 | 991 | 16.3% |

百万円未満を切捨てて表示しております。

2011年3月期通期の予想値は、2010年5月7日に公表した数値を、当連結会計年度より適用した「セグメント情報等に関する会計基準」に準拠した新たなセグメントに区分して、見直しております。前連結会計年度についても新たなセグメントに組み替えて算出した数値になっております。

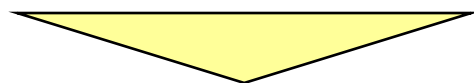
配当予想修正について(2010年10月4日付)



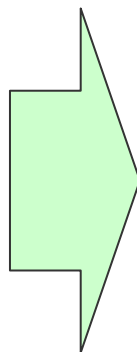
期初における見通し

前期末の個別業績において、繰越損失を解消できず、期末配当を見送った。

今期においては、収益を上積みし、個別業績において繰越損失が解消され、利益配分可能な利益が得られて、復配が可能になる見込み。



期末配当金として、1株につき200円を予定した。



2010年10月における配当予想修正

スマートフォン向け事業を積極的に推進するための体制強化を図るため、当社(オリコン株式会社)が保有する株式会社oricon MEの株式(新株予約権を含む)を当社グループで経営戦略立案を行うオリコン・ストラテジー株式会社(現商号)に全て譲渡。



オリコン株式会社の個別業績において、譲渡益852百万円が特別利益として発生し、当期純利益が増加する見込み。



期末配当金を、1株につき800円に増額修正。

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ、可能な限り安定した配当を継続して実施すること、また、将来の事業展開と経営の急激な変化に備えるための経営基盤の強化に必要な内部留保を確保していくことを基本方針としています。

当社グループのスマートフォン対応について

「ORICON STYLE」 iPhone向け無料アプリ



- ・2010年7月2日よりアプリの提供を開始。
- ・すでに、アプリのダウンロード数が20万を超え、月間ページビュー数も1,000万を超える状況。
- ・iPhoneで表示される広告枠の販売を開始。PCサイトとのセットメニューとしても販売。

「ORICON STYLE」Android携帯向け無料アプリ



エンタテインメント系の
ニュースを提供

音楽配信サービス
を提供

ランキング情報
を提供

- ・2010年9月21日よりアプリの提供を開始。
- ・現在は、Androidマーケットで提供。
- ・近々にドコモマーケットでも提供開始予定。

今後、NTTドコモによる決済代行サービス
(従量課金および月額課金)にも順次、対応。

- ・現在は、Android携帯のうち、XperiaSO-01Bでのみ音楽配信サービスを提供。(他のAndroid携帯では、「音楽配信」の部分が割愛されて表示されます。)

近々にGalaxy Sにも対応可能予定。

今後、Android携帯の新機種が続々
投入され、ユーザー数の増加が見込ま
れるため、対応する機種を順次、拡大。

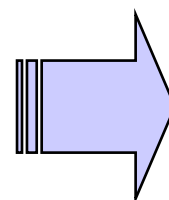
- ・iPhoneと同様、広告枠の販売を開始する予定。

「アプリポータル」

現状

“App StoreやAndroidマーケットにアプリがたくさん並んでいても、どのアプリが自分に有用なのかが分からない。”

いわゆる「カオス状態」



可視化ニーズがある。
(「見える化」が求められている。)

当社グループでスマートフォンユーザー数万人を対象として、全てのジャンルのアプリの満足度調査を実施し、その結果に基づいたランキングを掲載する「アプリポータル」をアプリとして提供。

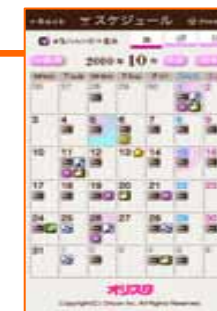


(アプリのTOPページデザインイメージ)

当社の持分法適用会社でモバイルリサーチ事業を展開する株式会社ORIMOの持つ2,000名超のiPhoneユーザー調査パネルも活用。

「カレンダーアプリ」

当社グループで収集しているエンタテインメント関連のスケジュール情報を付加したカレンダーアプリ。雑誌「オリスタ」とも連動。



(アプリのデザインイメージ)

「音楽プレーヤーアプリ」

当社グループが保有する楽曲の詳細データや音楽情報を付加したプレーヤーアプリ。歌詞や動画も表示。



(アプリのデザインイメージ)

今後も、当社グループの企画力、情報収集力、調査力を活かし、ユーザーニーズに応えるユニークなアプリを開発し、順次、投入してまいります。さらに、各アプリを有機的に連動させ、スマートフォンにおけるビジネスを当社グループの各事業において積極的に推進してまいります。

音楽配信ビジネス

従来から実績のある様々なメディア活動と
着うた・着うたフル等の音楽配信サービス
とを融合させて展開

アフィリエイトビジネス

広告ビジネス

当社グループの優位性(ユニーク性)

経験と実績

企画力

調査力

情報収集力

情報発信力

「オリコン」ブランド

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

オリコン株式会社

IR用ホームページ <http://www.oricon.jp/>

iPhone、App Storeは、Apple Inc.の商標または登録商標です。Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。着うたフル、着うたは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。